

あいち農産物生産流通レポート

平成27年2月号

情報サロン		
・日本茶インストラクターと連携した「あいちの茶」PR	(園芸農産課)	1
東日本情報		
・「在京流通行政連絡会で研修会開催」	(東京事務所)	2
フラワーページ		
・フラワーバレンタイン	(東京事務所)	4
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		5
・名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し		6
花き		
・切花・鉢花の2月の見通し(県内市場)		18
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2014年11月)		22
関連指数		23

今月は、「地域トピックス」、「西日本情報」はありません。

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ (03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課 (052)-954-6421

日本茶インストラクターと連携した「あいちの茶」PR

日本茶インストラクターとは、平成11年に社団法人（現：公益社団法人）日本茶業中央会により制定された「日本茶インストラクター等認証制度」により、日本茶と消費者の接点となり、日本茶文化の発展及び日本茶の正しい理解と普及を推進できる人材として、NPO法人日本茶インストラクター協会に認定された方々です。

1 日本茶インストラクターの取組

日本茶インストラクターの方々は、日頃から、お茶の淹れ方の教え方やお茶の歴史の学習会、茶生産の現場視察等により、能力向上に努め、小中学校等での茶を活用した食育（以下「茶育」という。）の活動やイベント、セミナー等を通して、一般の方に、日本茶の良さを伝えたり、お茶文化の普及・振興に努めています。



茶産地ツアー（茶の栽培状況等）

平成26年度は、愛知県茶品評会関連行事に招待したり、茶産地ツアーの企画に協力しました。

2月下旬には、茶生産者と日本茶インストラクターの方々が茶を楽しんだり、茶について語る交流会を計画しています。また、常滑焼急須職人企画のイベント「ぶらり常滑急須の里めぐり」や、常滑焼卸団地（セラモール）でのイベント（ともに10月開催）において、お茶の淹れ方教室等を通して、あいちの茶をPRしていただきました。

3 今後の期待

今後も、日本茶インストラクターの方々とは、茶育やあいちの茶関連商品の開発、あいちの茶PR等、あらゆる場で活躍していただけるように協力・連携していきたいと考えています。



研修会（話し方）



お茶の歴史講座

2 日本茶インストラクターと茶生産者の交流

近年、茶生産者の団体である愛知県茶業連合会は、日本茶インストラクターの方々と積極的に交流を図り、インストラクターの方々の能力向上に協力する一方、あいちの茶のPRに協力していただいております。良い関係を築きつつあります。



セラモールでのお茶の淹れ方教室

「在京流通行政連絡会で研修会開催」

各県の流通担当で組織する在京流通行政連絡会（19県が所属）では、平成26年度に10月と12月にそれぞれ研修会を行いましたので、その結果を報告します。

1 視察研修会

10月3日（金）に20名（13県）で長野県北佐久郡御代田町にあるJA佐久浅間の真空予冷施設と野菜加工施設を視察しました。

真空予冷施設のある御代田町の標高は850mと高く、浅間山麓の高原野菜の主産地で、レタスを中心にはくさい、キャベツなどが生産されていました。

～レタスに関して～

レタスの出荷最盛期は6月と10月で、今年度は7、8月の曇雨天で作柄が悪く出荷量が少なくなったとのことでした。集出荷予冷施設への搬入は午前中で、レタスの収穫は午前4時ごろから行っているそうです。出荷形態は、段ボールとコンテナの2種類で、ノーラップでした。真空予冷施設では、約20分間で5℃まで品温を下げて鮮度維持を行い、立体冷蔵庫に自動搬入、冷蔵庫内部の温度は5℃、湿度は85%で管理されていました。なお真空予冷施設は長野県内すべてのJAにあるそうです。

野菜加工施設は、日本マクドナルド株式会社と契約しているレタスカット工場（1999年竣工）でした。カット野菜は1980年から取り組まれており、現在の契約数は約70戸で個人やJA、任意組合、商系など様々でした。また工場の製造能力は1時間あたり2.4tで、現状6.4tのレタスで2.4tを製品化しており、歩留まり率は37.5%でした。これは現在のレタスの品質が良くないことを現していました。製品化されないものについては、焼酎や酢、ペレット化して養鶏飼料などにしており、契約単価については3ヶ月ごとに見直していました。



真空予冷槽入口



集出荷施設で説明を受ける様子

2 講演会

12月8日(月)に37名(19県)が出席して都道府県会館(千代田区平河町)において「青果物の新しい売り方・産地の育て方」と題した株式会社食文化代表取締役社長の萩原章史(はぎわら あきふみ)氏の講演会が開催されました。

萩原氏は、インターネット販売を行っており、自社でシステム構築からコンテンツ制作、物流出荷からカスタマーサポートまでを一括して行っていました。また県の事業を現在8か所受託していました。

講演で印象に残った内容は、以下の通りでした。

- ・アンケートは、買ってくれたお客様に対して行ったほうが現実的な評価が期待できる。
- ・地元で販売評価を受けてから、他地域で販売する。
- ・国内の流通をきちっと(欠品等改善)してから海外進出すべき。
- ・食料品のマーケティングは、商品を自ら食べてから始まり、3~5年かけて産地と成長する。
- ・商品企画は、どの階層のお客様をターゲットにするかが大事。
- ・トップブランドはメディアに取り上げられやすい。
- ・お客様には媚びない。
- ・取引先を複数確保してリスクヘッジする。
- ・インターネット販売において単品で売れる野菜は、トマト、アスパラガス、トウモロコシ、枝豆、たけのこ、ネギくらい。
- ・東京の富裕層は薄味で健康リテラシーが高い。
- ・テレビ番組で取材先を探してる人は、ホームページ検索をたくさんしている。
- ・イベントをしても、その後商品がイベント会場になかったら意味がない。
- ・系統流通は決済と物流機能が充実している。
- ・機能性表示には、可能性がある。

また講演会后、9県から「今後売り出したい農産物」について質問がありました。

例として、「すきやき」の県内産食材100%を売りにしようと考えているところに対しては、セット企画は取り組みが少なく可能性があること、あれもこれも入れる企画は高価格になり失敗しやすいこと、すきやきは地域によって食材が変わるので定番食材であるネギと牛肉とこんにゃくのセットで販売したほうがいいこと、ネギを軸に「ネギの本当に美味しいときだけの料理」にしたほうがお客様にインパクトがあること等の回答がありました。

インターネット販売を手がけている萩原氏の考え方は、実需に結びつくと思われ、各県の流通担当者に大変参考になるものでした。

講師略歴

氏名 萩原 章史氏

1962年：静岡県生まれ。

大学卒業後、大手ゼネコンに勤務。中国・米国等を中心に13年を海外で暮らす。

2001年：株式会社食文化を起業。「うまいもんドットコム」を開始。

2004年：「築地市場ドットコム」を開始。以降、様々な企業と提携しEC事業を展開。

2011年：JVA2011地域貢献特別賞受賞。

2013年：日本ネット経済新聞賞グッドコラボレーション部門受賞。

ほかに、築地市場の売買参加権を持ち、東京シティ青果(株)の商品管理システムを担当する等々。

フラワーバレンタイン

フラワーバレンタインは、本来のバレンタインデーの姿である性別を問わずお互いが愛を伝えあう日として、そして、日本の男性もちょっと勇気を出して花を携えて女性に愛を伝えることができるよう、花の業界がこれをお手伝いするキャンペーンです。

フラワーバレンタインの効果

フラワーバレンタインは、4年前に発足したフラワーバレンタイン推進委員会を中心として展開され、昨年7月からは、(一社)花の国日本協議会の推進チーム(以下「推進チーム」という。)にその活動が受け継がれています。推進チームによると、キャンペーンの実施前に比べて、バレンタインデー当日の売り上げが2倍に迫るほど増加しており、徐々に定着してきているこのこと。また、客層も30~40代の男性客がレジに列をつくるほどの店舗もあるなど、男性の花贈りのきっかけづくりとして抜群の効果があるとみています。

今年のイベント

今年も推進チームは、2月8日(日)に六本木ヒルズにおいてフラワーバレンタインイベントを開催しました。本県もこの取組をバックアップするため、イベントに県産の花を提供したり、知事が参加して花のプレゼントやフラワーウォークを行いPRを行いました。また、2月14日に錦糸町で行われる「あいちの農産物トップセールス in 東京」においても、花束のプレゼントやフラワーバレンタインを意識した花のディスプレイを展示するなど、愛知の花を少しでも使ってもらえるよう後押しをしています。

これまで花を贈ったことのない方も是非今年のバレンタインデーには、花を贈ってみてはいかがでしょうか。



ー 昨年のフラワーバレンタインのイベントの様子



大田市場内でもPRコーナーが設けられています

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	671	314 (46%)	259	242	鳥取 (20%) 和歌山 (15%) 高知 (7%)
27年見通し	589	-	269	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の主な産地は田原市、豊橋市、名古屋市（大高）。11月から前年を下回る気温で、今後も低温が予想されるが、産地が比較的温暖な地域であり、積雪等の影響も少ないと思われる。生育は前年と比べると順調である。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込みである。</p>			<p>鳥取や九州の産地では作付面積を増やしているが、全国的に見るとほぼ横這いである。以前はピクセル（早生品種）が主流であったが、気候や生産地域の変化で年々新たな品種が生まれている。</p> <p>ブロッコリーは人気商材であり、認知度も高いため、量販店で特売の提案をすれば荷動きは活発になる。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	2,685	1,218 (45%)	274	256	埼玉 (13%) 香川 (10%) 中国 (9%)
27年見通し	2,800	1,300	250	250	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>この時期の入荷は愛知が約半分近くを占め、次いで年内出荷が主力である埼玉が続く。愛知は11月の冷え込み以来、遅れ傾向であったがここにきて遅れていたものが出荷され量的には回復している。2月に入ると出荷大幅増も見込まれる。他産地も同様の傾向である。米国产、中国産は減少する。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>ブロッコリーは栄養価の高い食材で、2月に入るとサラダ需要の高まりもあり、量販店にとっても目玉商品となる商材である。</p> <p>産地側から数量の増減の最新情報を迅速、的確に伝えていただくと、増量してきたとき売り込みがかけやすくなるので、今までも増して、安定した数量とより正確な出荷情報をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し

名古屋市中央卸売市場

1月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
野菜計	22年	31,242	217	221	212	愛知 29%
	23年	29,898	229	238	231	北海道 20%
	24年	32,169	237	231	246	鹿児島 7%
	25年	31,304	202	194	196	静岡 6%
	26年	31,144	216	212	218	
	5ヵ年平均	31,151	-	-	-	
	27年見通し	31,200	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>愛知、北海道からの入荷が中心となる。天候不安定の影響から、全体的に小玉傾向であり、出荷数も前年同様少なくなる見込み。価格は引き続き高値で推移する見込みである。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
だいこん	22年	1,867	85	88	81	静岡 60%
	23年	1,864	89	99	79	徳島 19%
	24年	2,131	106	112	110	鹿児島 5%
	25年	1,651	94	88	90	神奈川 5%
	26年	1,879	84	90	89	
	5ヵ年平均	1,878	92	91	96	90
	27年見通し	1,800	85	75	85	95
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>静岡からの入荷が中心。天候不順で生育は良くなく、Lサイズ中心も、今後の天候回復次第では、2Lサイズまで回復しそう。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。</p>						
にんじん	22年	2,260	72	71	75	愛知 87%
	23年	2,140	136	142	144	鹿児島 8%
	24年	2,017	124	128	134	熊本 2%
	25年	1,984	125	127	135	中国 1%
	26年	1,890	129	112	135	
	5ヵ年平均	2,058	116	108	119	126
	27年見通し	2,000	120	110	120	130
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>愛知からの入荷が中心となる。各産地とも生育は順調。L、2Lぐらいの太物が中心、L以上の太物は引き合いが強いが、S物は引き合いが弱く、全体の価格を下げていく状況である。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

1月29日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	116,832	241	235	248	241	千葉 16%
	23年	117,364	240	239	245	237	茨城 12%
	24年	123,066	257	248	250	274	北海道 11%
	25年	119,361	222	232	210	225	愛知 10%
	26年	119,763	236	226	244	265	(愛知産比率 10%)
	5ヵ年平均	119,277	239	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	119,000	240	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心で、果菜類は西南暖地が増え、土物類は北海道からの入荷となる。年内の前倒し出荷により1月は初荷以降入荷量が伸び悩み高値となったが、好天も多く入荷量は回復傾向。 入荷量は前年並で、価格も前年並の見込み。</p>							
だいこん	22年	11,631	99	94	111	89	神奈川 56%
	23年	11,574	87	85	100	76	千葉 28%
	24年	11,593	120	110	127	125	徳島 6%
	25年	11,672	100	110	94	96	鹿児島 5%
	26年	12,056	89	79	114	74	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	11,705	99	95	109	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	12,500	90	95	90	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>神奈川、千葉からの入荷が中心となる。神奈川は低温乾燥で小振り傾向で、春大根は中旬からの出荷を見込む。千葉はトンネル作型が上旬から出荷予定で生育良好。徳島は1月中旬からトンネル作型の出荷が始まった。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並の見込み。</p>							
にんじん	22年	6,940	83	74	86	93	千葉 67%
	23年	6,408	164	158	174	162	鹿児島 10%
	24年	6,935	122	114	123	132	埼玉 6%
	25年	6,329	135	136	132	136	茨城 4%
	26年	6,040	154	136	164	171	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	6,530	130	122	134	138	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	6,700	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、鹿児島、埼玉、茨城からの入荷が中心となる。千葉は生育良好で肥大も良く秀品率も高い。埼玉も生育良好で順調出荷が期待できる。茨城も生育良好。 入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほういさ	22年	2,930	70	68	75	67	兵庫 46% 愛知 32% 茨城 17%
	23年	2,900	78	68	85	86	
	24年	3,237	85	77	88	95	
	25年	3,058	79	75	80	85	
	26年	2,635	71	68	78	68	
	5ヵ年平均	2,952	77	71	81	81	
27年見通し	2,700	70	65	75	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は3月～10月まで増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は3月～9月まで上昇傾向にあり、10月以降は減少傾向にある。</p>				
<p>主な産地は愛知で兵庫、茨城が続く。愛知の数は減少傾向も、茨城がカバーしている。生育は問題なく、玉も大きい。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みの見込み。</p>							
キャベツ	22年	2,910	111	108	114	111	愛知 94% 鹿児島 3% 熊本 1%
	23年	2,877	129	126	135	125	
	24年	3,402	141	145	132	148	
	25年	3,420	105	115	94	110	
	26年	2,978	109	120	107	105	
	5ヵ年平均	3,118	119	123	116	120	
27年見通し	3,000	110	120	110	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は3月～10月まで増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は3月～9月まで上昇傾向にあり、10月以降は減少傾向にある。</p>				
<p>愛知からの入荷が中心となる。2月までは昨年の台風の影響が続き、小玉傾向で数も少ないが、下旬以降は回復の可能性もある。 入荷量、価格ともに前年並みの見込み。</p>							
ほうれんそう	22年	471	401	441	387	360	愛知 81% 福岡 5% 茨城 4% 徳島 4%
	23年	439	398	488	405	314	
	24年	341	542	593	580	511	
	25年	398	406	431	380	452	
	26年	357	412	413	418	443	
	5ヵ年平均	401	427	470	428	409	
27年見通し	370	400	450	400	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は3月～10月まで増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は3月～9月まで上昇傾向にあり、10月以降は減少傾向にある。</p>				
<p>愛知からの入荷が中心となる。12月からの冷え込みによる生育不良の影響により出荷減、単価高の影響が出ている。今後、気温が上昇に転じれば、出荷量、価格ともに落ち着く可能性もあるが、あくまでも天候次第。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	22年	12,369	55	48	68	46	茨城 54%
	23年	12,562	68	57	79	71	兵庫 21%
	24年	13,409	74	61	72	92	群馬 14%
	25年	12,660	74	72	74	75	埼玉 3%
	26年	13,019	71	68	81	60	(愛知産比率 2%)
	5ヵ年平均	12,804	69	61	75	69	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	13,300	55	50	60	55	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫、群馬からの入荷が中心となる。各産地とも生育良好で大玉傾向。茨城は春作で一部強風のため作業遅れが発生。兵庫は下旬にピークを迎える模様。群馬は低温で結球内部の生育が停滞気味。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>ほうきの数量と単価の月別推移。数量は3月～10月まで約5,000t前後で推移し、11月～12月に急増して15,000t以上を記録。単価は3月～8月まで約60円/kg前後で推移し、9月～10月に急騰して140円/kg以上を記録。その後、11月～12月に急落して約40円/kg前後に下落し、1月～2月にやや回復傾向にある。</p>					
キャベツ	22年	13,475	116	114	118	116	愛知 59%
	23年	13,583	128	134	130	120	千葉 21%
	24年	15,072	139	135	128	154	神奈川 15%
	25年	14,005	109	117	95	115	茨城 2%
	26年	13,804	113	115	110	111	(愛知産比率 59%)
	5ヵ年平均	13,988	121	123	116	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	13,300	120	115	120	125	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、千葉、神奈川からの入荷が中心となる。本県産は10月の台風とその後の曇雨天の影響で根張りが良くなく小玉傾向だが、中旬以降回復見込み。千葉は台風のとき直しが出荷見込み。神奈川は生育良好。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の月別推移。数量は3月～10月まで約10,000t前後で推移し、11月～12月に急増して20,000t以上を記録。単価は3月～8月まで約80円/kg前後で推移し、9月～10月に急騰して140円/kg以上を記録。その後、11月～12月に急落して約60円/kg前後に下落し、1月～2月にやや回復傾向にある。</p>					
ほうれんそう	22年	1,756	425	421	479	366	茨城 28%
	23年	1,820	413	502	419	327	群馬 21%
	24年	1,484	514	634	498	421	千葉 20%
	25年	1,831	362	386	310	398	埼玉 18%
	26年	1,476	483	412	553	514	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,673	435	467	445	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,700	430	500	400	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き茨城、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。茨城は生育良好で順調な出荷が期待できる。群馬は低温で生育停滞が散見されるが、生育は概ね順調。ハウス再建の遅れで面積減。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の月別推移。数量は3月～10月まで約600t前後で推移し、11月～12月に急増して1,800t以上を記録。単価は3月～8月まで約300円/kg前後で推移し、9月～10月に急騰して700円/kg以上を記録。その後、11月～12月に急落して約300円/kg前後に下落し、1月～2月にやや回復傾向にある。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	22年	980	378	352	425	355	静岡 22%
	23年	856	423	401	444	433	愛知 20%
	24年	945	411	437	432	385	大分 17%
	25年	916	329	339	321	343	鳥取 7%
	26年	827	405	347	491	415	
	5ヵ年平均	905	388	375	421	385	
27年見通し	900	350	350	350	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長ねぎは愛知、白ねぎは静岡、大分を中心に入荷。愛知産は12月の降雪の影響が大きく、細物が多いが、静岡産が順調で、全体の出荷量を押し上げている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
し タ ス	22年	1,463	252	251	255	248	兵庫 37%
	23年	1,211	303	343	312	255	熊本 16%
	24年	1,130	417	384	403	475	愛知 16%
	25年	1,378	292	358	252	269	静岡 13%
	26年	1,529	238	228	213	241	
	5ヵ年平均	1,342	294	307	280	290	
27年見通し	1,400	260	260	260	260	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は兵庫、静岡、愛知、熊本が中心。兵庫、静岡は小玉傾向が続いている。下旬より出てくる熊本産に期待したい。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
き ゆ う り	22年	1,076	372	371	355	395	愛知 57%
	23年	1,199	315	326	305	313	高知 15%
	24年	1,076	372	326	305	313	宮崎 15%
	25年	1,168	298	320	227	328	鹿児島 12%
	26年	1,187	336	302	357	384	
	5ヵ年平均	1,141	337	328	309	346	
27年見通し	1,160	340	350	320	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、西南暖地からの入荷が中心となる。全体的な生育不良が続いており、細物が多い。また、数も減少傾向が続いているが、細物のため価格に反映していない。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ね	22年	4,389	333	279	414	304	千葉 43%	
	23年	4,369	303	272	340	306	埼玉 24%	
	24年	4,800	279	252	281	313	茨城 14%	
	25年	4,599	265	241	237	261	群馬 7%	
	26年	4,224	363	273	483	334	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	4,476	307	263	348	303	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ぎ	27年見通し	4,600	250	260	240	250		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		前月に続き千葉、埼玉など関東産地からの入荷が中心となる。千葉は肥大良好で生育は概ね順調。埼玉、茨城、群馬も同様に生育良好なため潤沢な入荷が期待できる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。						
し た ス	22年	6,764	244	246	247	237	静岡 33%	
	23年	6,348	275	325	280	219	香川 12%	
	24年	6,221	377	359	363	414	茨城 11%	
	25年	6,208	278	355	231	246	長崎 9%	
	26年	7,098	216	221	207	219	(愛知産比率 3%)	
	5ヵ年平均	6,528	276	298	264	265	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ス	27年見通し	6,900	220	0	0	0		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		静岡、香川、茨城、長崎からの入荷が中心となる。静岡は低温で玉伸びが鈍く小玉傾向だが中旬以降回復する見込み。香川はトンネル被覆が一部遅れたが生育は概ね良好。茨城は低温で生育遅れがみられる。入荷量、価格ともに前年並みの見込み。						
き ゆ う り	22年	4,618	397	378	394	434	宮崎 31%	
	23年	4,939	334	338	333	331	千葉 19%	
	24年	4,836	435	439	398	466	高知 15%	
	25年	4,932	313	325	283	332	群馬 13%	
	26年	4,496	370	313	400	409	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	4,764	369	359	360	393	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
り	27年見通し	4,500	400	420	400	380		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		宮崎、千葉、高知、群馬からの入荷が中心となる。宮崎の生育は概ね良好で植え替え時期を迎える。千葉は低温の影響で一部で樹勢が弱く果実肥大が鈍い。高知は過不足なく安定出荷が見込まれる。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	22年	474	384	400	383	369	熊本 49%
	23年	542	343	349	339	340	愛知 47%
	24年	472	383	400	386	374	高知 4%
	25年	429	371	408	365	355	福岡 0%
	26年	415	359	332	367	389	
	5ヵ年平均	467	367	377	367	364	
す	27年見通し	430	360	330	350	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>熊本、愛知からの入荷が中心となる。平年並みの出荷が見込まれるが、今後の冷え込み次第では、出荷量が減少する恐れもある。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
マ	22年	866	352	377	340	338	熊本 52%
	23年	896	296	271	296	329	愛知 27%
	24年	853	436	364	397	564	三重 10%
	25年	829	379	343	374	429	岐阜 7%
	26年	870	370	337	362	423	
	5ヵ年平均	863	366	338	353	415	
ト	27年見通し	860	360	350	360	370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>産地は熊本、愛知、三重、岐阜が中心。若干重油の価格が下がり、単価も落ち着く見込み。各産地とも出荷量は多めの見込み。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
ミ	22年	244	685	707	659	688	熊本 60%
	23年	237	687	676	696	691	愛知 26%
	24年	248	850	778	798	1,016	和歌山 8%
	25年	285	739	741	745	744	
	26年	294	733	670	753	786	
	5ヵ年平均	262	739	714	732	785	
ト	27年見通し	280	730	700	700	800	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>熊本、愛知からの入荷が中心で、若干和歌山、宮崎からも入荷。着花不良により生育、出荷量ともに良くないが、天候回復次第では出荷量は回復する見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	1,825	445	490	437	404	高知 62%
	23年	2,033	404	387	398	429	福岡 19%
	24年	2,137	445	429	460	450	熊本 7%
	25年	1,975	413	420	394	425	佐賀 5%
	26年	1,967	432	376	471	471	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,987	428	419	432	436	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,000	430	450	410	430	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡など西南暖地からの入荷が中心となる。各産地とも低温や曇天で生育は鈍いが、今後気温上昇と日照量が多くなることから生育、着果とも順調な見込み。 入荷量は前年並で、価格も前年並となる見込み。</p>					
ト マ ト	22年	4,722	398	412	391	389	熊本 38%
	23年	5,105	333	317	327	357	栃木 17%
	24年	4,697	474	400	446	596	愛知 12%
	25年	4,723	409	378	394	457	宮崎 5%
	26年	4,982	383	354	373	455	(愛知産比率 12%)
	5ヵ年平均	4,846	398	371	385	449	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,000	410	420	410	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。各産地とも低温のため着色遅延がみられるが、生育は概ね良好。熊本はやや小玉傾向で栃木は樹勢が回復傾向。本県産は作型切り替えもあり出荷量は少なくなる見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	22年	929	680	693	659	692	熊本 35%
	23年	954	672	656	682	681	愛知 22%
	24年	964	886	807	816	1,067	宮崎 17%
	25年	1,089	756	752	763	754	千葉 8%
	26年	1,251	704	629	735	780	(愛知産比率 22%)
	5ヵ年平均	1,037	739	704	733	794	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,300	750	740	750	760	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、宮崎からの入荷が中心となる。愛知は低温の影響もあり出荷量はやや少なくなる見込み。熊本は作付増のため出荷量は前年を上回る見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	346	723	775	694	701	鹿児島 45% 宮崎 37% 高知 13%
	23年	362	623	643	619	608	
	24年	368	790	812	713	814	
	25年	398	652	734	640	615	
	26年	384	666	662	658	679	
マン	5カ年平均	372	690	725	664	682	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	370	686	680	680	700	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		鹿児島、宮崎、高知の西南暖地から入荷が中心。2月上旬は冷え込みの影響で出荷減となるが、中下旬にかけて増量し、価格も出荷量により増減する見込み。 入荷量は前年をやや下回る見込みで、価格は前年をやや上回る見込み。					
ばれいしょ	22年	2,894	136	126	137	151	鹿児島 43% 北海道 40% 長崎 13%
	23年	2,622	168	153	169	187	
	24年	2,921	138	135	142	135	
	25年	2,742	106	105	107	107	
	26年	2,822	119	113	116	125	
いしょ	5カ年平均	2,800	133	126	134	141	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,800	125	130	125	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道、長崎からの入荷が中心。北海道は貯蔵物が計画出荷される。長崎は2月までL、2Lの大玉傾向。鹿児島の泉野地方の抑制物が中下旬より出てくる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。					
たまねぎ	22年	4,641	115	122	118	102	北海道 82% 静岡 11% 中国 1% アメリカ 1%
	23年	3,980	129	134	138	116	
	24年	5,305	94	95	98	101	
	25年	5,497	86	92	91	87	
	26年	5,272	136	139	134	135	
ねぎ	5カ年平均	4,939	111	115	114	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,300	95	95	95	95	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道からの入荷が中心で、静岡の新物が出てくる。北海道産はL大、L物の大玉中心。出荷量は前年程度見込まれる。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピ	22年	1,134	732	768	703	723	宮崎 47%
	23年	1,251	634	661	622	617	高知 21%
	24年	1,217	800	822	695	862	鹿児島 15%
	25年	1,227	654	765	608	597	茨城 15%
	26年	1,288	671	666	667	681	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,223	698	736	659	696	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	1,200	700	680	700	700		
マ ン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>宮崎を中心に高知、鹿児島などから入荷する。宮崎は年内の遅れがもどり上旬に山があり、その後減少する見込み。高知は樹勢低下により減っていたが、2月は上向く。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						
ば れ	22年	7,624	140	134	138	155	北海道 60%
	23年	7,855	156	147	159	166	鹿児島 24%
	24年	8,735	124	119	126	127	長崎 16%
	25年	8,239	94	98	95	90	(愛知産比率 - %)
	26年	8,893	110	105	110	118	
	5ヵ年平均	8,269	125	121	126	131	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	9,200	105	105	105	100		
い し よ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>北海道を中心に鹿児島、長崎から入荷する。北海道は、地域によりばらつきはあるが、平均すると作柄は良好。鹿児島は生育が前進化しており玉肥大良く良好。長崎は玉中心で平均的な作柄。 入荷量は前年をやや上回り、価格はやや下回る見込み。</p>						
た ま	22年	8,051	145	143	145	150	北海道 74%
	23年	8,437	143	142	143	145	静岡 15%
	24年	10,208	100	96	102	105	中国 5%
	25年	9,453	98	92	99	103	米国 3%
	26年	10,028	145	144	146	144	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	9,235	126	123	127	129	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	10,000	110	110	110	110		
ね ぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>国内は北海道、静岡などから入荷し、他に輸入物が入る。北海道は不作の前年を上回るが、年内出荷がそれほど多くはない。静岡は平均的な生育。 入荷量は前年並みだが、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	22年	10,825	293	291	287	305	青森 20%
	23年	9,400	364	354	365	341	静岡 16%
	24年	9,083	374	356	370	397	愛知 14%
	25年	8,942	344	324	339	362	熊本 13%
	26年	8,854	364	360	355	370	
	5ヵ年平均	9,421	346	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,900	350	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は青森、静岡、愛知。かんきつ、りんご、いちごなどが入荷する。りんごは中国向けの輸出が一段落し、引合いは強くなる見込み。かんきつは、冷え込みによる影響が出ている。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
かんきつ	22年	5,422	191	198	186	195	静岡 30%
	23年	4,082	302	296	317	300	愛媛 22%
	24年	4,606	259	263	262	256	愛知 14%
	25年	4,223	237	228	237	247	和歌山 10%
	26年	4,352	240	238	241	247	
	5ヵ年平均	4,537	243	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	4,300	230	230	230	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、愛媛、愛知からの入荷が中心。愛媛など一部での凍霜害の影響と、アメリカでの港湾ストライキの影響により出荷量が減少する恐れがある。静岡は正品率が低く、数量が下がる見込。味も悪い。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
いちご	22年	1,099	1,027	1,038	1,004	1,045	愛知 52%
	23年	1,186	1,021	1,129	1,002	945	熊本 24%
	24年	793	1,418	1,443	1,418	1,385	鹿児島 8%
	25年	985	1,137	1,129	1,109	1,174	三重 5%
	26年	972	1,212	1,285	1,260	1,120	
	5ヵ年平均	1,007	1,144	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	980	1,200	1,250	1,200	1,150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、熊本。2番果のピークを迎え、各産地とも順調な出荷が見込まれる。平年並みの数量となる見込み。品質も平年並みの見込み。 入荷量、価格ともに前年並みの見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	22年	41,283	312	297	316	332	静岡 19%
	23年	34,582	400	392	403	408	愛媛 18%
	24年	38,389	382	356	386	414	青森 15%
	25年	36,838	357	344	359	369	フィリピン 6%
	26年	36,856	377	375	378	377	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	37,590	364	-	-	-	前年及び本年の
	27年見通し	35,500	410	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>りんご、いちご中心にいよかん、不知火などの晩柑類の入荷が本格化する。いよかんは食味がよく出荷はやや前進する見込み。不知火は熊本、愛媛などからでる。みかん類は「青島」、「寿太郎」などが入荷する。入荷量はやや減少し、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
りんご	22年	6,886	224	220	226	231	青森 95%
	23年	6,309	232	234	232	230	長野 3%
	24年	5,434	351	341	353	361	秋田 1%
	25年	6,594	241	244	242	237	山形 1%
	26年	5,755	291	293	289	292	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	6,196	264	263	265	266	前年及び本年の
	27年見通し	6,300	310	310	310	320	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森から「ふじ」の貯蔵もの中心に「王林」「ジョナゴールド」などが入荷する。「ふじ」について産地在庫は前年の110~120%で36玉を中心に入荷する。「王林」「ジョナゴールド」は前年の80%ほどで少なめとなる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格も輸入が少なく前年をかなり上回る見込み。</p>					
いちご	22年	4,331	1,124	1,058	1,145	1,197	栃木 41%
	23年	4,756	1,068	1,119	1,084	1,005	福岡 17%
	24年	3,491	1,378	1,392	1,385	1,359	茨城 13%
	25年	4,229	1,152	1,152	1,126	1,181	佐賀 10%
	26年	4,192	1,233	1,290	1,253	1,153	(愛知産比率 2%)
	5ヵ年平均	4,200	1,181	1,193	1,189	1,168	前年及び本年の
	27年見通し	4,100	1,300	1,350	1,300	1,200	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に福岡、佐賀などから入荷。1月は大幅な増加もなく、平均的な入荷が続いた。栃木は大きな山もなくすすみ、今後もその傾向が続く。福岡は初旬は大玉傾向、下旬は端境で少なくなる。佐賀は多くないが平均的な出荷見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

切花・鉢花の2月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 1月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	22年	1,979	54	
		23年	1,701	47	
		24年	1,649	58	
		25年	1,476	57	
		26年	1,457	47	
	5ヶ年平均		1,652	53	
	27年見通し		1,500	50	
概要	愛知、沖縄、三重等から入荷。年末から気温が低く、日照も多くないため、ガラガラ出荷で極端な山はないと思われる。相場は小売の動きは重い時期なので、業務の動きによるところ大きい。				
小ぎ	実績	22年	1,117	31	
		23年	1,121	32	
		24年	1,134	34	
		25年	1,120	24	
		26年	1,002	25	
	5ヶ年平均		1,099	30	
	27年見通し		1,000	30	
概要	沖縄中心に入荷。昨年の台風や低温、日照不足の影響が残り、上旬まではやや少ない見込みで、今後の天候で日照や気温の上昇とともに増えてくる。高値基調が続いているため、増え方によって高値疲れとなる場面も考えられる。				
カーネーション	実績	22年	1,060	38	
		23年	1,036	38	
		24年	1,037	41	
		25年	1,017	37	
		26年	915	42	
	5ヶ年平均		1,013	39	
	27年見通し		1,000	42	
概要	愛知を中心に和歌山、長野から入荷。年明けから昨年並みの生育で、3月までは大きな山もない。葬儀中心に菊類の安定単価もあり、堅調な動きとなろうが、小売は大きなイベントもなく、他の品目が入荷量によっては不安定な場面も考えられる。				
かすみ草	実績	22年	191	63	
		23年	167	61	
		24年	167	83	
		25年	162	67	
		26年	178	68	
	5ヶ年平均		173	68	
	27年見通し		180	65	
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。アルティル、ペールスター中心に数量は安定的な入荷をする。業務中心の動きであるが、バレンタインや節句など中旬以降活発な動きになりそう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	22年	232	197	
		23年	257	187	
	績	24年	249	224	
25年		286	169		
り	5ヶ年平均		253	195	
	27年見通し		230	200	
概要	<p>オリエンタルは高知、埼玉、愛知中心の入荷。入荷は引き続き少ない。業務中心の動きで白系は強めか。中旬以降は一般需要もあり、相場は強い。鉄砲、LAユリは入荷少なく、九州方面の鉄砲ユリが増えそうなのは中旬以降と思われる。LAは業務中心に安定した販売。</p>				
洋らん	実績	22年	324	80	
		23年	464	61	
	績	24年	390	91	
25年		424	69		
ん	5ヶ年平均		407	74	
	27年見通し		420	75	
概要	<p>高知、徳島、愛知、宮崎等と輸入物が入荷。昨年12月からの低温や日照不足の影響が少なからず出てくることが予想される。コチョウランは遅れ気味、カトリアは前進気味の傾向。2月は寒さが和らぐものの全般的に入荷は少なめに推移するのではないかと。</p>				
ばら	実績	22年	748	86	
		23年	691	82	
	績	24年	696	93	
25年		663	87		
ら	5ヶ年平均		686	88	
	27年見通し		630	90	
概要	<p>愛知、三重、岐阜、和歌山等から入荷。愛妻の日からフラワーバレンタインと続くイベントもあり、相場は堅調な動きをする見込み。入荷量はあまり多くなく、日照量が今後の出荷のキーポイントとなる。</p>				
枝も	実績	22年	1,367	46	
		23年	1,500	48	
	績	24年	1,893	42	
25年		1,719	42		
の	5ヶ年平均		1,670	43	
	27年見通し		1,800	40	
概要	<p>促成物が多く入荷する。花桃がメインとなる月だが、物日需要に傾いているため、気温が高く前進すると苦しい展開となる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 力	実 績	22年	13,857	218	
		23年	14,438	234	
		24年	11,286	192	
		25年	13,241	185	
		26年	11,479	196	
	5ヶ年平均		12,860	206	
	27年見通し		11,000	205	
概要	<p>入荷量は品種等の大きな違いもなく例年並みの状況と思われる。今シーズンについても3.5号を中心の入荷となり4.5～5号の作付けが減少気味。スズランエリカ、ホワイトトデライト含め、白花中心で色物が少なめの構成となるだろう。単価面については、3～3.5号が主となるので平均的に厳しいことも予想される。特に中旬～下旬にかけては単価の下落も想定される。</p> <p>昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位新潟(45.7%)、2位静岡(29.8%)、3位長野(9.6%)となっている。</p>				
プ ム ラ	実 績	22年	314,227	87	
		23年	270,668	114	
		24年	265,746	98	
		25年	314,984	87	
		26年	288,174	89	
	5ヶ年平均		290,760	95	
	27年見通し		290,000	90	
概要	<p>入荷量は減少か。今年は昨年12月より出荷が進んでいるため、2月は早めに終了予定の見込み。中旬以降での注文対応は難しいと予想。</p> <p>昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(44.7%)、2位埼玉(10.4%)、3位奈良(9.7%)となっている。</p>				
チ ユ リ ッ プ	実 績	22年	71,483	156	
		23年	64,271	184	
		24年	45,676	195	
		25年	39,457	159	
		26年	38,809	189	
	5ヶ年平均		51,939	175	
	27年見通し		37,000	180	
概要	<p>入荷量は減少か。1月同様に作付け減少もあり、入荷量は2～3割ほど減少と思われる。年々6号以上は厳しく4～5号中心に引き合いがあると思われる。</p> <p>昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(28.9%)、2位埼玉(14.6%)、3位長野(11.9%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	22年	65,202	273	
		23年	76,930	254	
		24年	63,779	260	
		25年	75,566	228	
		26年	64,250	245	
	5ヶ年平均		69,145	251	
	27年見通し		64,000	240	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。5号5～6入@450～@300の引荷が強くなる見込み。若干6号以上の高単価の物は苦戦が予想される。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位埼玉(26.9%)、2位兵庫(13.3%)、3位愛知(11.7%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	22年	65,220	164	
		23年	60,020	169	
		24年	52,085	154	
		25年	55,728	151	
		26年	54,656	161	
	5ヶ年平均		57,542	160	
	27年見通し		54,000	170	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。毎年の事ながら、花色が少ない時期の為、そこそこの引き合いになりそう。新品种等、来期に期待していきたい。 昨年2月の主要県の集荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜(26.6%)、2位静岡(23.5%)、3位愛知(17.9%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	22年	35,521	813	
		23年	38,127	680	
		24年	30,768	779	
		25年	30,684	846	
		26年	30,506	866	
	5ヶ年平均		33,121	792	
	27年見通し		31,000	900	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。今年は天候の影響で割りとよく出来ていると思われる。価格面では上旬の方が良いと思われる為、上旬出荷を意識してお願いしたい。また世間の流れが例年とは明らかに違うので、早めの出荷計画及び事前販売をしていただきたい。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(40.6%)、2位宮崎(15.0%)、3位高知(11.5%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2014年)

1 輸入実績

品名	1 1 月						1 1 月 まで の 累 計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	47,636	73.5	6,363,029	83.3	134	113.4	762,393	109	84,864,508	100	111	92
トマト	620	71.9	266,740	74.2	430	103.2	7,008	90	2,853,182	95	407	106
たまねぎ	23,160	74.7	1,114,558	75.2	48	100.7	323,093	122	15,927,858	108	49	89
にんにく	1,501	111.1	278,088	134.5	185	121.1	17,246	102	2,935,970	94	170	91
ねぎ	3,570	75.6	409,113	73.5	115	97.3	50,615	101	5,385,631	95	106	94
ブロッコリー	1,013	63.8	219,183	57.2	216	89.5	29,294	88	5,604,231	85	191	96
結球キャベツ	610	25.4	17,314	18.2	28	71.8	33,776	139	1,321,090	141	39	102
にんじん・かぶ	3,936	58.6	153,053	43.3	39	73.9	68,511	94	3,281,605	82	48	87
ごぼう	3,550	86.8	184,284	57.5	52	66.2	42,938	118	3,078,172	140	72	118
えんどう	38	39.5	17,219	47.4	453	120.0	615	38	218,730	38	356	100
アスパラガス	1,106	87.0	888,573	91.6	803	105.3	10,888	105	6,676,181	106	613	101
まつたけ	137	122.0	447,847	97.6	3,269	80.0	1,055	86	5,366,093	92	5,086	106
しいたけ	274	62.3	100,627	60.4	367	96.9	2,249	73	856,511	78	381	107
かぼちゃ	2,775	59.7	289,882	76.9	104	128.9	86,053	94	6,989,687	99	81	106
果実(生鮮・乾燥)	115,058	88.5	21,397,549	95.3	186	107.7	1,560,748	94	263,050,422	109	169	116
バナナ	70,218	92.4	6,163,545	105.5	88	114.2	876,990	97	79,504,207	107	91	111
パイナップル	11,143	79.7	853,197	92.1	77	115.6	151,484	92	11,212,325	109	74	118
レモン	2,282	59.1	581,758	69.8	255	118.1	44,483	98	8,236,436	124	185	127
オレンジ	3,244	108.3	408,944	112.4	126	103.8	81,260	76	11,418,078	96	141	127
グレープフルーツ	4,004	74.7	624,414	89.5	156	119.8	99,252	85	10,517,304	91	106	108
メロン	1,142	61.1	161,597	68.4	142	112.0	27,365	89	3,047,471	93	111	105
ぶどう	2,652	69.6	885,654	76.2	334	109.5	27,081	130	7,569,469	141	280	108
キウイ	3,416	136.7	996,378	49.7	292	36.3	65,027	112	22,200,128	114	341	102
いちご	368	84.9	395,371	94.1	1,074	110.9	3,305	96	3,378,880	103	1,022	107
切花(生鮮・乾燥)	3,054	87.4	2,838,543	96.4	929	110.2	38,055	92	33,073,801	100	869	109
鳥獣肉類	146,353	96.0	81,260,737	115.7	555	120.6	1,809,210	110	925,594,070	119	512	109
牛肉(くず肉含む)	41,277	84.0	28,519,070	123.5	691	147.1	483,537	97	278,876,549	114	577	117
豚肉(くず肉含む)	53,457	86.4	30,192,979	92.3	565	106.8	782,199	116	429,684,743	121	549	104
鶏肉	41,769	123.8	13,265,758	163.8	318	132.3	436,112	115	127,659,004	127	293	110
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	150,880	96.1	107,241,603	103.6	711	107.8	1,504,354	97	1,024,506,125	108	681	111
まぐろ類	15,794	98.5	12,444,083	103.7	788	105.2	191,383	102	153,948,205	100	804	98
さば・さんま・あじ・いわし	18,036	134.1	864,555	29.0	48	21.6	72,133	117	13,410,335	108	186	92

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	6,071	124.7	2,169,246	129.9	357	104.2	25,586	128	10,490,284	134	410	105
うんしゅうみかん	958	75.4	188,681	93.8	197	124.3	3,055	115	643,696	137	211	119
りんご	4,792	143.5	1,741,654	133.7	363	93.2	17,895	136	6,448,509	139	360	102
なし	41	127.7	22,227	113.9	542	89.2	962	84	507,792	91	528	108
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	439,858	149.4	-	-	-	-	3,387,879	122	-	-
緑茶	389	120.7	723,134	109.7	1,859	90.8	3,151	118	7,007,448	117	2,224	99

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

年 月		消費者物価指数				
		総 合	生 鮮 野 菜	生 鮮 果 物	肉 類	魚 介 類
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年 8月	102.9	93.2	110.9	106.7	110.1
	9月	102.6	94.4	108.1	103.1	107.7
	10月	102.7	96.8	110.1	101.0	105.1
	11月	101.1	99.4	107.3	100.3	104.8
愛 知 県	24年平均	99.7	98.0	105.3	99.1	102.1
	25年平均	102.9	102.3	117.2	101.1	107.9
	26年 8月	102.7	99.7	112.5	104.2	109.4
	9月	101.1	98.6	110.7	103.1	107.3
	10月	102.1	99.0	108.1	101.3	104.7
	11月	101.5	98.1	107.0	102.1	103.2

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物 総 合	米	野 菜	果 実	畜産物
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	105.5	106.3	100.9	103.3	112.6
	26年 8月	101.1	100.9	97.2	95.9	115.8
	9月	100.9	100.5	97.2	96.1	113.4
	10月	101.3	100.7	99.1	97.4	110.2
	11月	100.1	100.1	98.9	98.5	109.4
愛 知 県	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	105.5	106.3	100.9	103.3	112.6
	26年 8月	101.1	100.9	97.2	95.9	115.8
	9月	100.9	100.5	97.2	96.1	113.4
	10月	101.3	100.7	99.1	97.4	110.2
	11月	100.1	100.1	98.9	98.5	109.4

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単位	うるち 米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キ ャ ベ ツ	は く さ い	ね ぎ	レ タ ス	ば れ い し ょ	だ い こ ん	に ん じ ん	た ま ね ぎ	き ゆ う り	ト マ ト	生 し い た け	り ん ご (ふ じ)
		5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均		2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
26年 8月		1,945	149	190	698	346	339	164	367	266	545	568	146	654
9月		1,929	145	198	701	366	331	170	381	253	550	551	140	661
10月		1,931	150	192	699	363	329	165	380	254	551	548	134	665
11月		1,931	154	189	703	360	312	171	381	247	556	532	128	661
年 月	品目 単位	み か ん	グ レ イ プ フ ル ー ツ	オ レ ン ジ	い ち ご	バ ナ ナ	キ ウ イ フ ル ー ツ	緑 茶 (せん 茶)	カ ー ネ ー シ ョ ン	き く	バ ラ	豚 肉 (ロー ス)	牛 肉 (ロー ス)	ま ぐ ろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g					
24年平均		582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均		581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
26年 8月		699	357	476		258	861	558	160	178	348	241	849	420
9月		703	361	468		244	870	551	154	172	349	240	851	419
10月		699	356	469	181	242	855	549	152	171	349	236	857	421
11月		702	353	471	191	233	850	551	148	165	358	241	866	432

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 500
平成27年2月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421